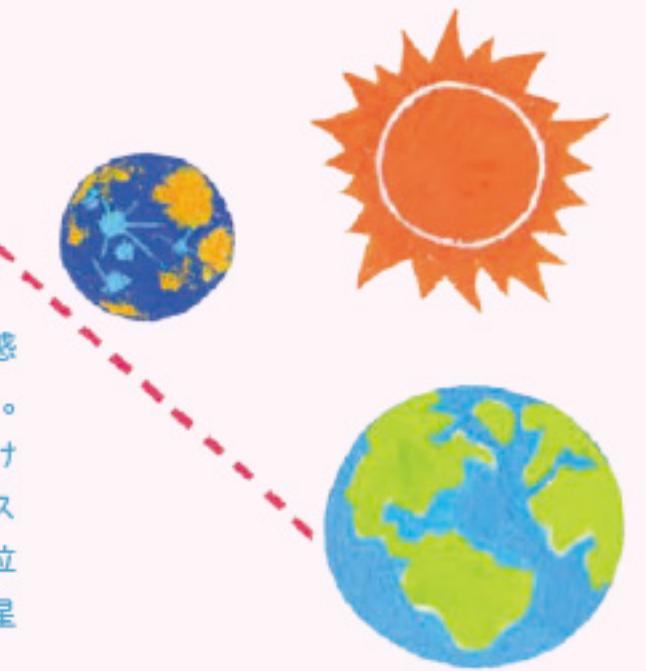


星のソムリエが「六本木天文クラブ」2020年の見所を紹介!

6/4

水星が最大離角

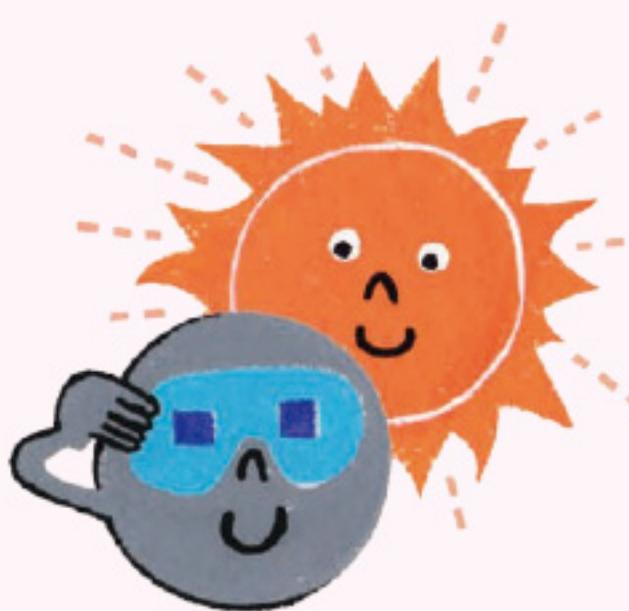
水星、見たことがありますか?肉眼でも見える5つの惑星(水・金・火・木・土)のうち、水星はレアキャラ。いつも太陽のすぐ近くにあるために、なかなか見かけることがありません。そんな水星を見つけるチャンスが、最大離角の頃!水星が太陽からもっとも離れた位置に来る最大離角の頃なら、夜空にきっと輝く水星を見つけられるかも?



部分日食

6/21

今年の夏至は、ちょっと特別なんです。なんと、太陽が欠けてしまう部分日食のおまけつき!東京では、午後4時過ぎから徐々に欠け始め、午後5時過ぎにもっとも大きく欠けることになります。古来、まさに神秘として人々を魅了してきた現象を、現代の東京の空に味わいましょう。日食グラスの用意もお忘れなく。



7/7

七夕

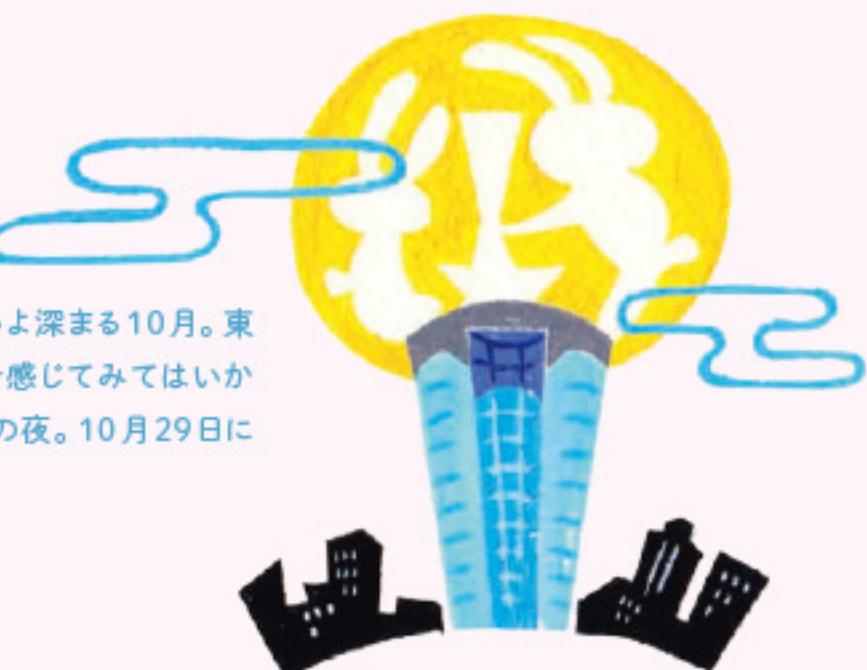
天に流れる天の川、その両岸に離れ離れとなってしまったのは織り姫と彦星。七夕は、そんな二人に許された年に一度の逢瀬の日。さすがに天の川を東京の夜空に探すことはできませんが、ベガ(織り姫)とアルタイル(彦星)を見つけるのはなんのその。みんなでじっくり見届けてあげましょう。



10/1

中秋の名月

夜風もすっかり涼しくなり、秋がいよいよ深まる10月。東京の夜空に浮かぶ名月に、秋の風情を感じてみてはいかがでしょう?今年の十五夜は10月1日の夜。10月29日に見られる十三夜の月も合わせてどうぞ!



火星接近 10/6

およそ2年2ヶ月毎に地球に接近する火星。今年はちょうどその接近の年にあたります。まさに観望の好機到来です!ふだんにもまして明るく輝く火星の姿は、それだけでも見応え十分。望遠鏡で覗いてみれば、その表面の様子を見ることができるかも?



12/13・14

ふたご座流星群

流れ星を見てみたい!そうお考えであれば、お勧めするのはふたご座流星群の日。毎年、安定して流れ星を流してくれる、ありがたーい流星群です。流れ星に出会うコツは、長時間、じっくり見ること。寒さに負けないよう、ぜひ暖かい格好でお越し下さい。